

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年2月24日(木)13時30分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員

検査グループ 核燃料施設等監視部門

栗崎企画調査官、石井主任監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他13名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料2について）

- ・ ガラス溶融炉の炉内体積の大小による運転管理の特性の違いを説明すること。
- ・ 上記の特性の違いを踏まえた上で、小型の溶融炉であるTVFにおいて洗浄運転を採用した場合に見込まれる効果を説明すること

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1 ガラス固化処理技術開発施設（TVF）における固化処理状況について

資料2 ガラス固化処理技術開発施設（TVF）における洗浄運転の実施可否等について

資料3 廃止措置段階における人材確保の考え方について

資料4 工程洗浄に係る再処理施設廃止措置計画変更申請の一部補正について

資料5 放射性クリプトンの管理放出の実施状況について

資料6 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）